

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~36週
	第35週	第35週	第36週	増減	第35週	第36週	増減	第35週	第36週	増減	第35週	第36週	増減	第35週	第36週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	267 0.05	1 0.02	△		1 0.05	△											16172
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	6609 2.11	87 2.90	110 3.67	▲	59 4.54	81 6.23	▲	12 4.00	1 0.33	▽	11 1.83	24 4.00	▲	5 0.63	4 0.50	▽	645
咽頭結膜熱	995 0.32	5 0.17	9 0.30	△		3 0.23	△				5 0.83	6 1.00	△				690
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3772 1.20	35 1.17	55 1.83	△	11 0.85	26 2.00	△				20 3.33	28 4.67	▲	4 0.50	1 0.13	▼	3532
感染性胃腸炎	11185 3.57	88 2.93	100 3.33	△	34 2.62	43 3.31	△	3 1.00	2 0.67	▼	32 5.33	30 5.00	▽	19 2.38	25 3.13	▲	5656
水痘	551 0.18	7 0.23	7 0.23		2 0.15		▽	3 1.00	4 1.33	▲	1 0.17	3 0.50	▲	1 0.13		▽	454
手足口病	3661 1.17	24 0.80	50 1.67	△	16 1.23	31 2.38	△	1 0.33	6 2.00	△	5 0.83	5 0.83		2 0.25	8 1.00	△	1126
伝染性紅斑	1001 0.32	5 0.17	12 0.40	△				1 0.33	3 1.00	△	3 0.50	9 1.50	△	1 0.13		▽	333
突発性発しん	1543 0.49	19 0.63	20 0.67	▲		4 0.31	△	2 0.67	1 0.33	▽	6 1.00	8 1.33	△	11 1.38	7 0.88	▽	625
ヘルパンギーナ	5343 1.70	179 ◎5.97	242 ◎8.07	▲	49 ◎3.77	84 ◎6.46	△	14 4.67	15 5.00	▲	63 ◎10.50	82 ◎13.67	▲	53 ◎6.63	61 ◎7.63	△	2313
流行性耳下腺炎	415 0.13	6 0.20	6 0.20		2 0.15	4 0.31	△	1 0.33		▽	1 0.17	1 0.17		2 0.25	1 0.13	▽	114
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	5 0.01																
流行性角結膜炎	705 1.01	1 0.13	1 0.13			1 0.25	△							1 0.50		▽	88
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	9 0.02																20
クラミジア肺炎	4 0.01																
マイコプラズマ肺炎	110 0.23	6 0.60	2 0.20	▽	5 1.25	1 0.25	▽		1 1.00	△				1 0.33		▽	105
細菌性髄膜炎	12 0.03																8
無菌性髄膜炎	17 0.04																6

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者			1		
腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者			1		型別:O157 VT2。
レジオネラ症	患者				1	
梅毒	患者	1				
	無症状病原体保有者			1		
百日咳	患者				1	※第35週追加報告分。ワクチン接種歴:4回 1人。小児 1人。

<通信欄>

※9月11日(第37週)に、村山地区で今シーズン初のインフルエンザ集団発生の報告がありました。

※第36週より、水痘の警報・注意報基準値が変更になりました。

(警報開始基準値:7→2、警報終息基準値:4→1、注意報基準値:4→1)

※インフルエンザの迅速キットによる型別は、A型(1件)です。

※トピックスで、RSウイルス感染症とヘルパンギーナについて掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ									1						
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
															1
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	6	14	55	25	7	2	1								110
咽頭結膜熱	1	1	2	2	1	1	1								9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	2	10	7	9	7	3	2	4	4	1	2	55
感染性胃腸炎	1	9	20	9	6	7	10	12	6	4	7	9			100
水痘					1	1	2		1			2			7
手足口病		6	15	10	6	2	2	3	1	2	1	2			50
伝染性紅斑					2	7		1				2			12
突発性発しん	1	6	9	2	1	1									20
ヘルパンギーナ	3	19	41	68	35	34	18	7	2	6	6	2		1	242
流行性耳下腺炎			3	1	1				1						6

<平成30年7月 月報>

2018年8月22日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～7月	
	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	15	18	9	12	2		2	4	2	2	131
	定点当り	1.50	1.80	2.25	3.00	2.00		1.00	2.00	0.67	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	7	6	1		1	1	4	4	1	1	58
	定点当り	0.70	0.60	0.25		1.00	1.00	2.00	2.00	0.33	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	5	4	2	2			1	1	2	1	23
	定点当り	0.50	0.40	0.50	0.50			0.50	0.50	0.67	0.33	
淋菌感染症	報告数	3	2	2						1	2	19
	定点当り	0.30	0.20	0.50						0.33	0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	11	8	1		1	1	3	2	6	5	55
	定点当り	1.10	0.80	0.25		1.00	1.00	1.50	1.00	2.00	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	22	20	12	10				1	10	9	127
	定点当り	2.20	2.00	3.00	2.50				0.50	3.33	3.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当り											

<トピックス>

RSウイルス感染症 情報

RSウイルス感染症の定点当たり報告数が急増しています。冬に流行することの多い感染症ですが、近年は流行の開始時期が早まる傾向があるため、注意が必要です。

- ・第36週 定点当たり報告数(山形県:3.67人)
村山:6.23人 最上:0.33人 置賜:4.00人 庄内:0.50人
- ※警報・注意報の基準値は設定されていません。

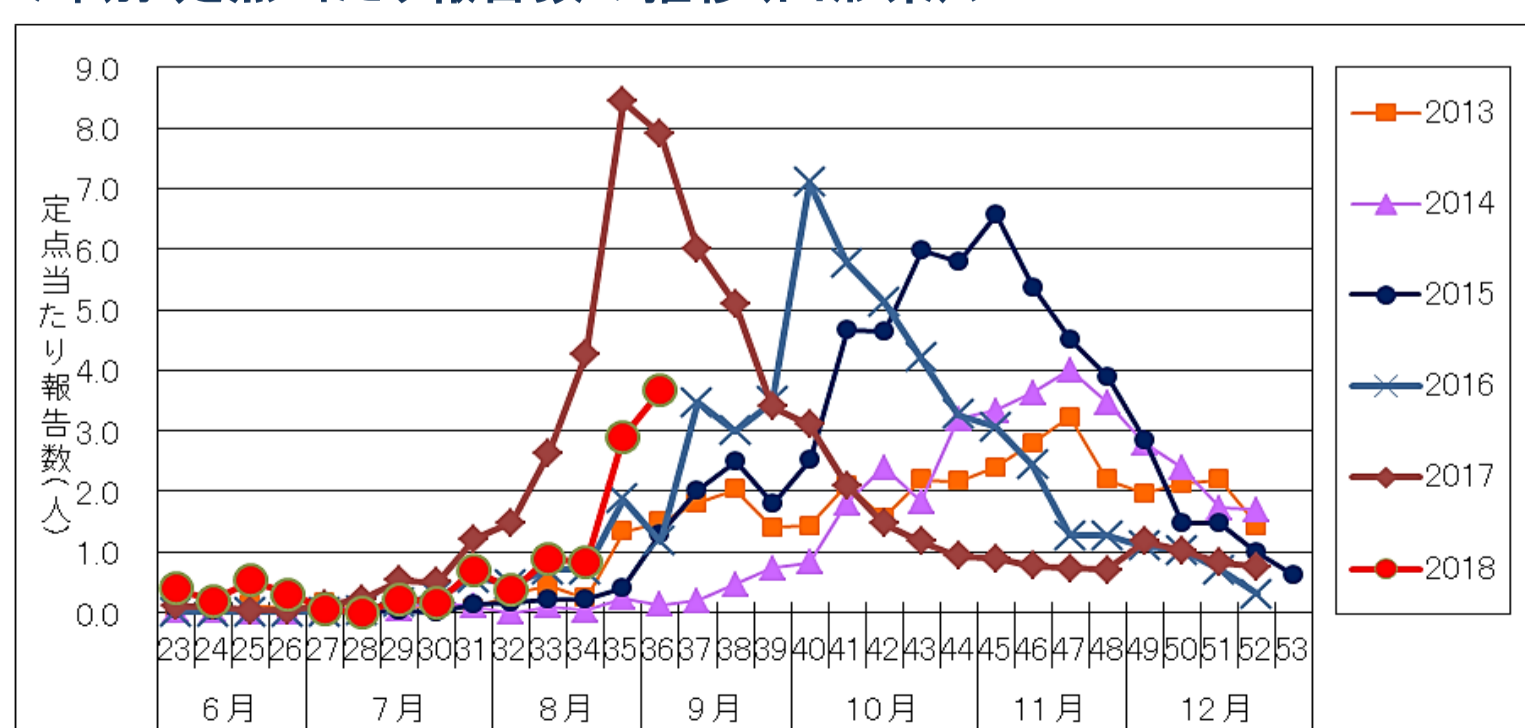
<RSウイルス感染症とは>

RSウイルス感染症は、乳児によくみられる急性呼吸器感染症です。潜伏期間は4～6日、症状は軽い風邪様の症状から肺炎まで様々です。2歳までにほぼ100%の人が感染し、生涯にわたり何度も感染と発症を繰り返します。初めて感染した場合は症状が重くなりやすく、特に新生児や生後6ヶ月以内の乳児は注意が必要です。

感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染、ウイルスがついている物を介しての接触感染などがあります。予防法としては、手洗いの励行、マスクの着用、ウイルスの付いている物の消毒が有効です。



<年別 定点当たり報告数の推移(山形県)>



ヘルパンギーナ 情報

ヘルパンギーナの県平均の定点当たり報告数は、8週連続で警報レベルとなっています。地区別では、村山地区、置賜地区、庄内地区が警報レベルとなっています。

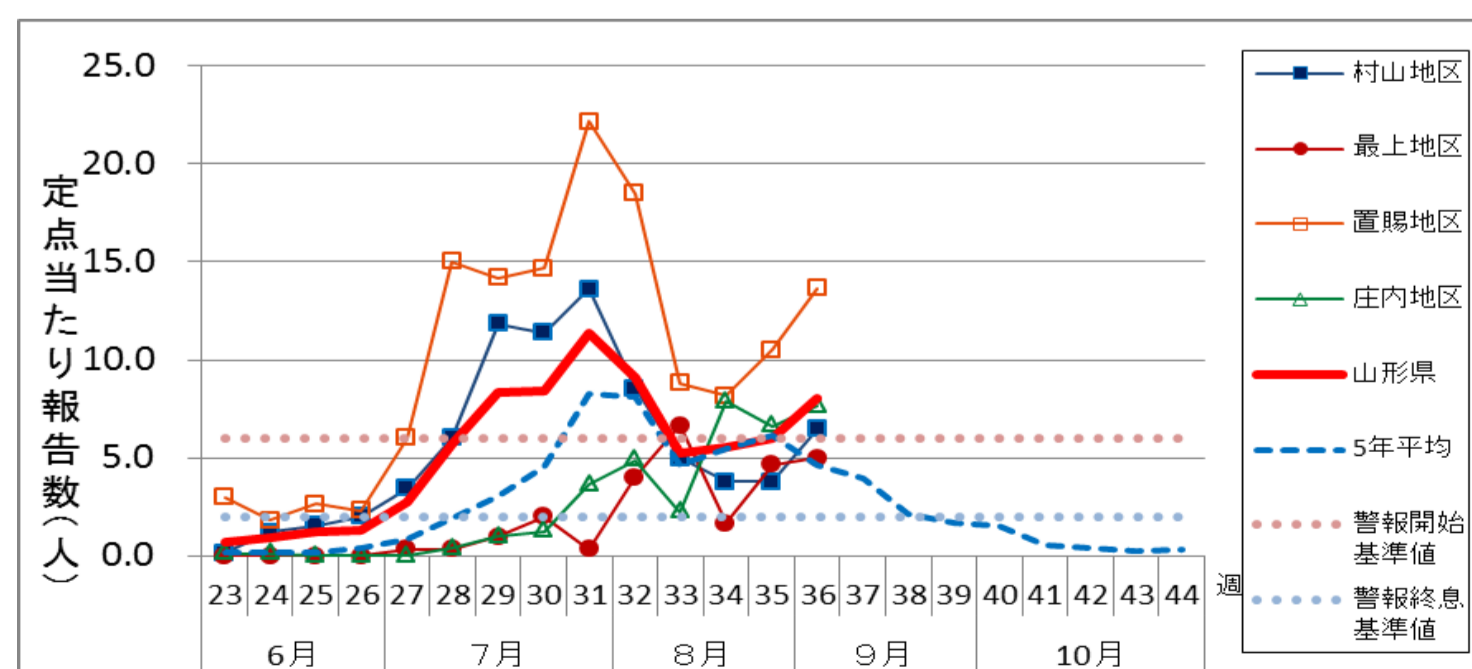
- ・警報開始基準値:6人 警報終息基準値:2人
- ・第36週 定点当たり報告数(山形県:8.07人)
村山:6.46人 最上:5.00人 置賜:13.67人 庄内:7.63人

<ヘルパンギーナとは>

エンテロウイルス(コクサッキーウイルスA群など)による感染症で、幼児を中心に夏に流行します。

ウイルスに感染すると、2～4日後に突然38～40℃の高熱が出ます。その後、のどの痛みと発赤が現れ、のどの奥に小水疱(小さな水ぶくれ)が現れます。小水疱は、やがて破れて痛みを伴います。発熱は2～4日で解熱し、やや遅れてのどの痛みも治まります。

<地区別 定点当たり報告数の推移(山形県)>



予防のために、手洗い・うがいを徹底しましょう。特に、ヘルパンギーナと手足口病は、回復後も便中に2～4週間にわたり、ウイルスが排泄されますので、おむつ交換やトイレの後は入念に手を洗いましょう。

